

2. 指標設定

成果指標	指標名	庁舎周辺整備		目標年度	指標の設定理由								
	数値	-			H26	総合計画／後期基本計画において、基本施策(3-2-1)の重点施策としているため							
活動指標	指標	a	基本構想策定		b	基本設計		c	実施設計		d	庁舎建設工事	
	数値	目標	-		目標	-		目標	-		目標	-	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
庁舎周辺整備		-	-	-
		-	-	-

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 基本構想策定		-	-	-
b 基本設計	千円	-	-	1,050 千円
c 実施設計	千円	53,530 千円	-	-
d 庁舎建設工事	千円	100,000 千円	2,338,644 千円	78,947 千円

4. 課題と対応

課題
駐車場の整備、多目的ホールの建設等を実施する。
対応（改善点等）
H27年度に本事業は終了する。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

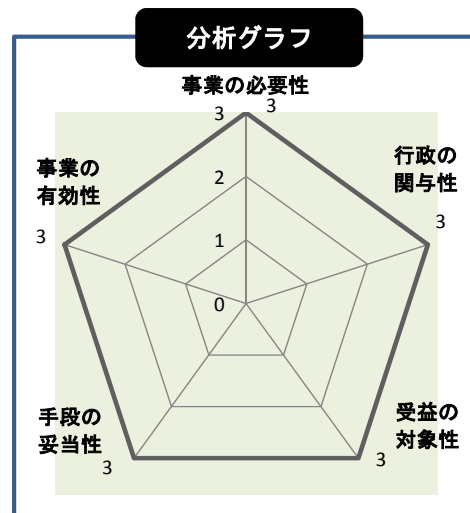
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		255,073	2,338,644	100,077	30,000
財源内訳	国費				
	県費				
	市債	235,400	2,140,900	78,300	28,500
	その他			12,161	
	一般財源	19,673	197,744	9,616	1,500
うち経常					
事業費に係る人件費		6,020	6,011	872	887
事業費に係る人役		1.40	1.40	0.20	0.20

6. H27年度予算の方向性

方向性
減額
理由
残事業のため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 新庁舎完成後、旧庁舎を解体し、駐車場整備、宣言碑の建立等を行うことが決定している。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 地方自治法第4条により、庁舎建設事業を行い、完成後の跡地利用として継続して実施するもの。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 現状の駐車場は未舗装部があり、手狭なため、来庁者の利便性の向上を図る必要がある。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 市民の利便性を図るためには適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 H26年度からH27年度にかけて、周辺整備事業を実施することで新庁舎整備事業のすべてが完了する。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
縮小	適切な周辺整備事業を実施すること。